



いよいよ、進路決定の時期です！

来週の11月21日（木）より、三者教育相談が始まります。これまで子どもたちは、保護者の方や担任と何度も相談をしてきたと思いますが、自分で決定をする時期となりました。

どこの高校に行くのかを高校の名前だけで選ぶとしていませんか？将来何になりたいのか、何をしたいのかをしっかりと考えて、そのためには何学科に進むのがよいのか、その学科のある高校はどこなのか。そうやって高校を選んでほしいと思います。もちろん3年間通い続けることが前提ですから、通学方法も大切です。



三者教育相談のための準備をお願いします！

三者教育相談では、事前にご家庭で話し合われた結果を記入できるように「事前下書き用受験校確認書」「令和7年度入試高等学校等コード一覧」「記入例」のプリントを配布し説明しています。

配布している「記入例」を見ながら、「コード番号」「形態」「期日」「学校名」「科及びコース名」「志望順位」をご記入・押印のうえ、三者教育相談当日までにご提出ください。

「受験確認書」をもとに、生徒と保護者の方の考えを担任に話されてください。特に注意していただく点は、学科の第二希望や第三希望まで記入してください。希望がない場合は斜線を引いてください。

どうしてもその場で決定できなかった場合は、ご家庭に戻られて話し合いをされて、教育相談の翌日には提出をお願いします。

各高等学校のホームページには「令和7年度生徒募集要項」が載っています。

学科やコースの第二・第三希望についての選択方法も記入されていますので、熟読されて記入されてください。

今後の進路通信では、受験のための予定表や、手順、受験料の納入などの期日をお知らせしていきますので、必ず目を通されて下さい。

特に、12月10日からは学校で願書を書きます。Web申し込みの高校は、手順の説明もします。Web申し込みの学校では受験料を振り込むと訂正がききません。また、同時に受験番号もオンライン上で決定します。あわてなくても大丈夫ですので、学校での願書下書きを確認後に受験料の振込みをお願いします。

公立高校はすべてコンビニ支払いですが、私立高校によっては銀行や郵便局振込みになっています。お金（公立2200円・私立10000円）の用意をお願いします。

中学校で入学願書下書きチェックが終わり次第、受験料の振込み、願書・受験票等の中学校への提出になります。それぞれの高等学校の「生徒募集要項」を確認されて、願書作成の手順などを確認してください。もし、何かご質問などありましたら、すみやかに担任にご相談ください。